



知床財団は、知床の自然を「知り・守り・伝える」ために斜里町と羅臼町が設立した財団です。
野生動物対策や調査研究、森づくり、環境教育活動等を行なっています。

町民の皆様へ

ヒグマによる人身事故を防ぐために



今年もヒグマが活動するシーズンになりました。ヒグマは私たちのすぐそばで暮らしています。
私たちの日頃の行動で、ヒグマとのあつれきを減らすことができます。人とヒグマがお互い安全に豊かに暮らしていただけるように、ご協力をお願いいたします。

大事なのは
一人ひとりの
行動です

必ず守ってください!

1

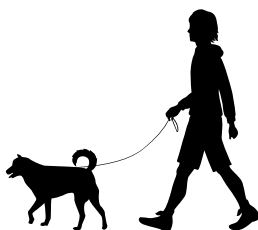
生ゴミを屋外に
放置しない



ゴミや食べ物の匂いはヒグマを
引き寄せる要因になります!

2

早朝・夜間のランニングや
犬の散歩は周りに注意しよう



草藪にヒグマが潜んでいるかも
しれません!

3

山菜取りの時は
周囲に注意する



近くにヒグマがいるかもしれません
クマ鈴やクマ撃退スプレーを携帯しましょう
周囲の確認も忘れずに!

!

こんな物もヒグマを誘引する可能性があります。
発見したらすぐに教えてください!



エゾシカの死体
クジラやトドなどの死体・漂着物



ヒグマを見たら早朝でも夜間でも
すぐにご連絡ください

知床財団
0152-24-2775

🌙 夜間・早朝
090-3778-4308

おしらせ

今年もクマ端会議開催します!

詳細はこちら
<https://www.shiretoko.or.jp/news/>



日程

第1回 4月19日(日)
第2回 4月29日(水・祝)

「クマ端会議」とは、ヒグマについてざっくばらんに話したり
聞いたりするアットホームな井戸端会議です。
場所や時間は決まり次第、随時お知らせいたします。

石川直樹写真展「知床半島」開催

2月27日(金)から3月1日(日)、ゆめホール知床にて写真家の石川直樹さんによる写真展「知床半島」を開催しました。2001年頃から知床に縁があり、世界中を歩きながら作品を発表し続けてきた石川さん。そんな彼のまなざしで捉えた知床の姿がずらりと並び、来場者からは「見慣れているはずの知床が新鮮に感じられる」との声も。3日間で延べ256名が来場、会期中に開催されたトークイベントにも57名が参加しました。



中斜里シャトランオープン2周年記念の会開催

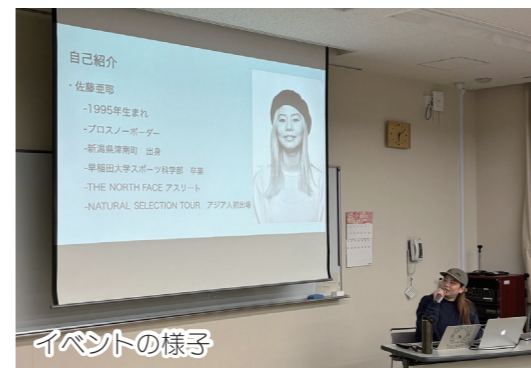
3月7日(土)、中斜里地区にあるコミュニティスペース「中斜里シャトラン」にてオープン2周年を記念したイベントが開催されました。2024年、自由に集まり、世代を超えて交流できる場所としてオープンした中斜里シャトラン。これまでの歩みをスライドショーで振り返り、この1年間の出来事にそれぞれが思いを馳せる時間となりました。そして中斜里シャトランを支えてきた「てんちょう」こと地域おこし協力隊の小泉柗介さんの卒業を受けて、これまでの感謝を伝えるサプライズも。



斜里のまちで見つけた「発見」をご紹介します！

まち発見レポート

プロスノーボーダー佐藤亜耶さんによるトークイベントが行われました



イベントの様子

2月24日(火)、ゆめホール知床にてプロスノーボーダー佐藤亜耶さんによるトークイベントが開催されました。地域包括連携協定を締結している株式会社ゴールドウインの協力のもと、世界で活躍するトップアスリートをお招きし、SNSを通じて知床の魅力を発信していただくとともに、地域住民との交流を通じて「関係人口」の創出を目指しています。イベントでは、佐藤さんのプロ活動の軌跡に加え「SDGsと人生」というテーマで講話が行われ、参加者は深く聞き入っていました。

コープさっぽろ様より新1年生へランドセルカバーが寄贈されました

2月27日(金)、コープさっぽろ様より新1年生になる皆さんへ80枚の交通安全ランドセルカバーを寄贈していただき、その受領式が行われました。ランドセルカバーにはコープさっぽろのオリジナルキャラクター「トドック」が描かれています。斜里町への寄贈は今年で15回目。岡田教育長は「継続してご支援いただき感謝しています。このランドセルカバーのおかげで子どもたちの命が守られます」と述べられました。この度の寄贈、誠にありがとうございました。



受領式の様子

斜里町内における自治会加入促進に関する協定締結式が行われました



協定式の様子

3月3日(火)、「自治会加入促進に関する協定締結式」が斜里町役場で開催されました。式には、斜里町自治会連合会、公益社団法人北海道宅地建物取引業協会北見支部、公益社団法人全日本不動産協会北海道本部オホーツクブロックが出席し、協定書への調印を行いました。本協定は、自治会への加入促進を通じて地域コミュニティの活性化を図ることを目的としたもの。地域のつながりの増進や、活力あるまちづくりの推進が期待されます。